

CAB-O-SPERSE® 分散液 感圧接着剤用

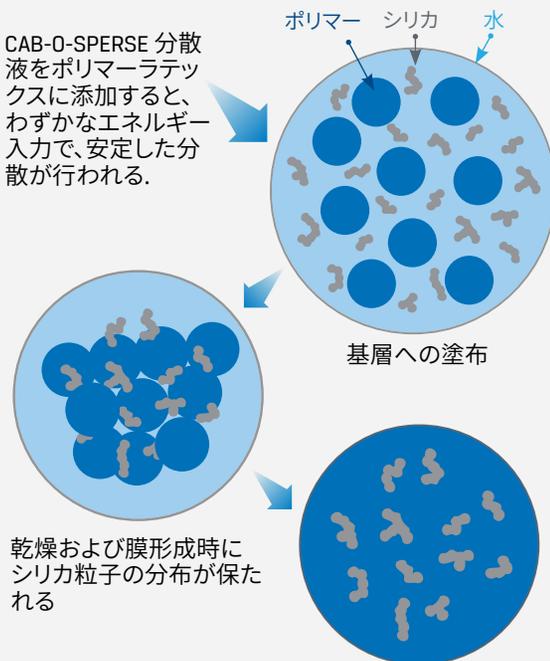
PSA に CAB-O-SPERSE 分散液を使う理由

CAB-O-SPERSE 分散液が水溶性感圧接着剤 (PSA) にもたらすメリット:

1. 処理のしやすさ
2. PSA 性能向上
 - ・凝集性のせん断強度の向上
 - ・剥離接着強度の保持
 - ・熱安定性の向上
 - ・可変光学特性 (透明度/混濁度)
3. 超高純度

CAB-O-SPERSE 分散液のメリット

CAB-O-SPERSE 分散液をポリマーラテックスに添加すると、わずかなエネルギー入力で、安定した分散が行われる。

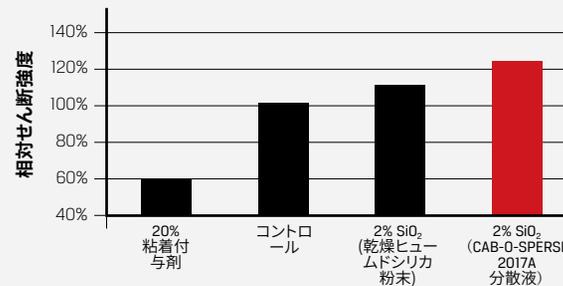


アクリル系の強度向上

凝集性のせん断強度

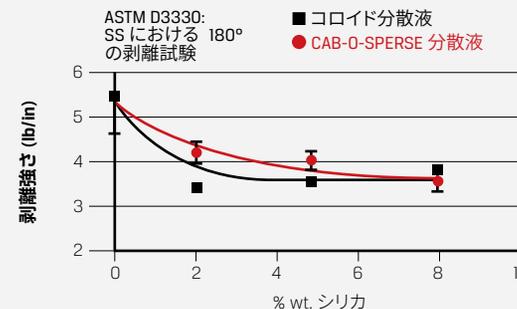
CAB-O-SPERSE 分散液:

- ・同等添加時の乾燥粉末代替物に比べせん断強度を高める
- ・接着力を高めるためによく用いられる有機系粘着付与剤に起因するせん断強度の低下をオフセットする
- ・2% wt 以上のシリカ vs コントロールで 20% を超える改善を実現する



優れた接着力の保持

剥離強さにおいて、CAB-O-SPERSE 分散液は、同等のコロイドシリカ分散液よりも優れた保持力を実現します。

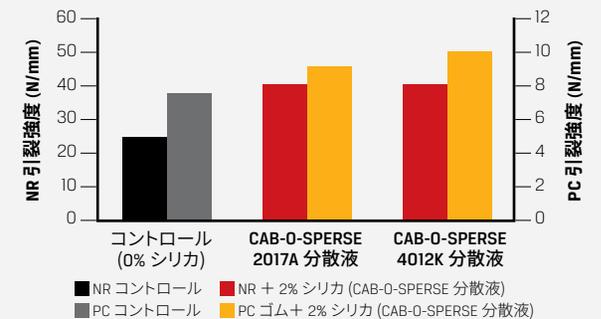


他のポリマー系における多用途性

他の接着系での使用

アクリルに加えて、CAB-O-SPERSE 分散液は、さまざまな水系ポリマーの機械的特性を改善します。

CAB-O-SPERSE 分散液は、天然ゴム (NR) とポリクロロブレン (PC) ゴム膜の引裂強度を最大 65% 増大します。



水素結合可能なポリマーは、CAB-O-SPERSE シリカとアルミナの分散液と、都合よく影響し合うため、さらに強度を高めることができます。



接着剤の相対的性能

推奨製品:

CAB-O-SPERSE 2017A, 2020K, 4012K, 1020K, 1030K, PG022, 1015E 分散液

一般的なガイドライン:

- 大きい粒子は、製剤安定性を促し、接着しやすい表面粗度を作る
- アニオン系において、陽イオン CAB-O-SPERSE 製品は最適な接着性能を促し、陰イオン CAB-O-SPERSE 製品は最適なバランス性能と製剤安定性を促す

凡例:

材料	安定剤	粒子荷電
● シリカ	NH ₃	陰イオン
■ シリカ	KOH	陰イオン
▲ シリカ	Proprietary	陽イオン



注記: 一定の固体添加でのデータ

配合詳細

水性 PSA 配合 (%wt.):

- 水 (25-35%)
- ポリマー (40-55%)
- 粘着付与剤または可塑剤 (5-15%)
- 粘着剤 (0-15%、オプション)
- CAB-O-SPERSE 金属酸化物 (2-10%、乾燥粒子 wt.)

水系有機粘着付与剤には、以下のようなエステルガム分散液または樹脂分散液を検討:

- Tacolyn™ 3179 H
- Tacolyn 5193

取外可能 PSA には、以下のような粘着性が控えめのアクリルを検討:

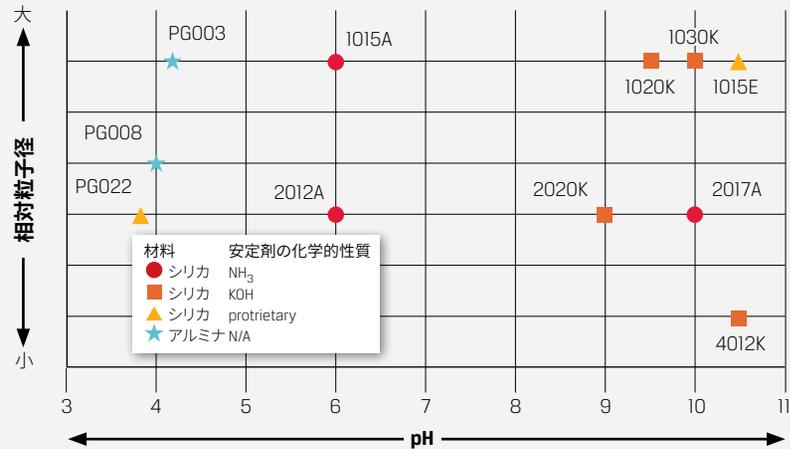
- ROBOND™ PS-8120 HV

より永久的な水性アクリル系には、以下を検討:

- ROBOND PS-90
- Acronol® 220

CAB-O-SPERSE 製品と特性

CAB-O-SPERSE 製品	添加量	電荷
1015A	15%	陰イオン
1015E	15%	陽イオン
1020K	20%	陰イオン
1030K	30%	陰イオン
2012A	12%	陰イオン
2017A	17%	陰イオン
2020K	20%	陰イオン
4012K	12%	陰イオン
PG003	40%	陽イオン
PG008	40%	陽イオン
PG022	20%	陽イオン



テクニカルサポート
 北米: 1 800 462 2313
 南米: +55 11 2144 6400
 欧州: +31 71 888 4132
 アジア太平洋: +86 21 5175 8800

CAB-O-SPERSE は Cabot Corporation の登録商標です。

本書に含まれるデータおよびそれに基づく結論は、信頼できると判断した研究作業に基づきます。ただし、他者によって同様の結果および/または結論が得られるとキャボットが保証するものではありません。本書の情報は、お客様の利便性を図るための参考資料として提供されるものです。本書には、不正確な情報や誤字脱字が含まれていることがあります。キャボットは、特定目的の商品適格性または適切性を含む、(i)情報、(ii)製品、(iii)知的財産の侵害について、明示的または黙示的に関わらず、いかなる保証もいたしません。キャボットはいかなる場合にも、本書の情報またはそれに関連する製品の使用したことにより、または信頼したことにより生じたすべての損害について一切責任を負いません。